

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(1)確かな学力の育成	①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。	1 授業はわかりやすい。	A			1 各教科の指導では、基礎基本の学力の定着を図るために工夫している。	A				
	②課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を養う。	2 授業では手を挙げてよく発表している。 3 グループ等での話し合い活動では、積極的に考えを言っている。	D B			2 授業で思考力や判断力、表現力を高めるための指導を工夫している。	A				
	③主体的に学習に取り組む態度を育てる。	4 授業での学習活動は楽しい。 5 授業での学習は自分にとって大事なのでがんばって勉強しなければならない。 6 宿題は必ず提出している。 7 自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	A A A B		1 子どもは自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。	C				3年全国学力 国語 県-5.0 全国-7.8 数学 県-7.0 全国-7.8 英語 県-8.0 全国-7.0	
	④学力向上委員会の活性化に努めるとともに、徳島県学校マネジメント・学力向上実行プランを活用し、学力向上に向けた取り組みを一層推進する。	8 授業でノートに学習のめあて(目標)を書いている。	C			3 授業ではめあてを明示し、学習の流れを説明したり、振り返りを行っている。	A				全国学力学習状況調査 (全国平均比較)
	⑤「全国学力・学習状況調査」、「徳島県学力ステップアップテスト」等で、個々の生徒の学力や学習状況を認識させることにより、学習に対する意欲を高める。	9 先生は私をよく見て適切に評価してくれている。	A			4 評価を適切に行い、学習指導に生かすとともに、学習への意欲を高める評価に努めている。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○成果として「授業はわかりやすい」「授業の学習活動は楽しい」の質問に対する肯定的な意見が90%を超えていた。</p> <p>○課題として家庭学習に積極的に取り組むことのできていない生徒が4割程度いること。家庭学習についてもきめ細やかな指導が必要だと考えられる。</p>	<p>○②-2 がDである。授業では自ら手を上げる場面。列であてていく場面などを状況によって考えなるべく多くの生徒の考えを発表させたい。学習のめあても毎時間ノートに書かせる。</p> <p>○教師も生徒も授業のめあてを確認し、黒板やノートに記入を徹底する。</p> <p>○学習に対しても自主性を育成できるよう努める。</p>	<p>○「授業で手を挙げてよく発表する」「道徳の時間は発表しやすい」が低いことから、他人からどう見られるかという他者評価に不安を感じている生徒が多いことがわかる。つまり自信のなさ、自己肯定感の低さが推測される。</p>

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(2)豊かな心の育成	①自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育てる。	10 学校行事や活動の時、友達と協力してできている。	A	2 子どもは友だちを大切にしようとする考えを持っている。 3 子どもは友だちと協力して行動できる。	A A	5 学校の教育活動全体を通して、規範意識を育成し、人間性を高める指導に努めている。	A				
	②家庭や地域と連携を図り、規範意識を育成し、いじめや暴力行為を許さず、生命を大切にすることを思いやりのある心豊かな感性を育む道徳教育の充実を図る。	11 自分を大切にすると共に、他人の大切さを認めることができている。 12 学校では命の大切さや社会のルールについてよく学習できている。	A A				6 個々の生徒の実態に応じて、家庭との連携を図りながら生徒の育成に努めている。	A			
	③家庭や地域と連携を図り、生徒の実態に応じたボランティア活動を通して奉仕の精神を養う。	13 家庭では自ら進んで家の手伝いをしている。	C	4 子どもは家でよくお手伝いをしている。	C						
	④エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然を大切に、地域の環境を守るために行動できる力を養う。	14 環境ISOやベルマークの取り組みに積極的に取り組んでいる。	C								

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○生徒、保護者ともに友達と協力することや、自他ともに大切にする心がよく育っていると感じている人が90%以上となっている。</p> <p>○家庭で手伝いをしている生徒の割合が非常に低い。</p> <p>○環境問題が自分の生活にも関係していることの意識が低い。</p>	<p>○引き続き、学校行事や人権学習を通して、思いやりの心を育てていく。家庭での役割を与え、家族の一員として生活に貢献しようとする態度の育成。</p> <p>○環境問題について、理科だけでなく、どの教科においても学習できる工夫をする。</p>	<p>○結果通り優しく思いやりのある生徒がほとんどで、落ち着いた学校生活が送れている。</p> <p>○家の手伝いを進んでできていない生徒が約半数いる。自分でできることや、家族と協力できることを具体的に示すことが必要。</p>

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(3)健やかに生きる力の育成	①学校体育の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、生徒が自分にあった運動を継続して行うことにより、運動習慣の確立を図る。	15 部活動はやりがいがあり、楽しい。 16 学校の活動以外で自主的に運動に取り組んでいる。	A C	5 子どもは運動や(部活動も含めて)に意欲的に取り組んでいる。	B	7 学校体育の充実を図り、運動習慣の確立に努めている。	A				
	②学校給食を「生きた教材」として活用し、食育を推進し、生活習慣病予防に向けた望ましい食習慣の確立を図る。	17 毎日3食必ず食べている。	A	6 子どもは「早寝早起朝ごはん」を実践できている。	B	8 さまざまな場面で食育を実施し、家庭と連携して望ましい食習慣の確立に努めている。	A				
	③専門家や関係機関と連携し、病気やけが、飲酒・喫煙・薬物乱用に対する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるようにする。	18 手洗い、うがい、歯みがきをきちんとしている。	A				9 関係機関との連携を図り、適切な保健指導が実践できている。	A			

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○部活動や体育の授業では、生徒は積極的に体を動かしているが、家庭での自主的な運動にはつながっていないようである。平日は、宿題等の勉強で忙しいと考えられる。</p>	<p>○生徒が保護者の方と共に取り組むことができる行事等があれば、目標達成に近づくのではないかとと思われる。</p>	<p>○手洗い、うがい、歯磨き等の衛生面での習慣は定着している。継続した学習の成果と考えられる。</p> <p>○自分や周りの人を大切に共に生きる姿勢がほとんどの生徒において高い。学習や部活に対して意欲的である。</p>

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(4)行動につながる人権教育の推進	①すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、「徳島県人権教育推進方針」に基づき学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進する。	19 困っている友だちがいれば声をかけようと思う。	A	7 学校は人権教育に熱心に取り組んでいる。	A	10 各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を図り、教育活動全体を通じて推進している。	A				
	②人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進め、生徒の知識・理解を深め、確かな人権感覚を育て、実践力を養う。	20 人権学習や合同学習は自分にとって大切な勉強だと思う。	A								
	③地域、家庭、校種間の連携を密にし、一体となって人権教育を推進する。					11 差別の現実深く学ぶ手法を核とし、同和問題を重要な柱として、さまざまな個別の人権課題にも地域や生徒の実態を考慮し、適正に指導されている。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
○合同学習では、実施回数を重ねることで活発な意見交換ができるようになり、少し広い目で人間関係が見つめられるようになってきたと感じる。一方で固定化された人間関係に歪みが生じると修復に難しさがある。	○今年度同様、いじめに関するアンケート、カウンセラーとの面接を定期的に行う。 ○4月～6月に担任が個人懇談を随時行う。	○命の大切さについて学習できていて、ほとんどの生徒が自分や友達を大切にできている。 ○「困っている友達に声かけができています」「人権学習や合同学習は大切」などから人間関係が大切であると思える心の醸成ができていると思われる。

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(5)道徳教育の充実	①「私たちの道徳」等の道徳用教材を有効に活用し、道徳教育の充実を図る。	21 道徳の時間は自分の意見が発表しやすい。	B								
	②「心の教育」の実践の場として、道徳の時間の確保に努める。					12 生徒の実態に基づいて年間指導計画や学級における指導計画を作成している。	A				
	③道徳の時間の深化充実を努め、心豊かな人間に育てることを目指す。				8 子どもはやさしい人間として育てられている。	A					
	④集団、学級、生徒会の活動などを通じ、集団の中における個の自覚と行動の定着に努める。						13 体験的活動等の学校の教育活動全体を通して道徳的価値を高めようと努めている。	A			

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
○今年度から道徳が教科化となり、これまでよりも各学年時間数が増えた。ルールを守ることや、周りとともに生きていくための学習の内容領域が広がり生徒の穏やかな生活から成果が見られる。	○教科書を上手く利用し、22項目の資料の中で発問や活動内容を工夫し、生徒が進んで意見を発表できる授業作りをする。	○年間指導計画を細かく見直す大きな1年となった。多くの項目を学習することで、学校生活のあらゆる場合で生かされると考える。

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(6)生徒指導の充実	①望ましい生活態度(挨拶, 交通マナー, 清掃等)の向上を図る。	22 大きい声で, 友達や先生にあいさつができています。	A	9 子どもは, 学校へ行くのが楽しいと言っている。	A			1 学校生活は楽しかったですか。 4 学校のルールを守れていますか。	A A		
	②全員部活動制により, 心と体の鍛錬を図る。			10 先生は, 子どもの間違っただ行動を厳しく適切に指導してくれる。	A	14 生徒の望ましい生活習慣の向上に努めている。	A				
	③個に応じた指導を展開し, 生徒の個性伸長を図る。	23 先生は, いじめや困っていることがあれば, すぐに取り上げてくれる。	A	11 学校は, 子どものことについて, 適切に相談に応じてくれる。 12 子どもはルールを守ってインターネット(パソコンやスマホ等)を使っている。	A B	15 日常の児童生徒理解, いじめの未然防止や早期発見, いじめに対して情報共有や組織的対応ができています。	A	5 いじめられたと感じたことはありませんか。 9 いじめを見つけたことがありますか。	A A		
	④家庭, 地域社会との連携を深め情報収集により, 問題行動の防止に努める。	24 学校からの配付物や通知は必ず家の人に渡している。	B	13 子どもは学校からの配付物や通知を必ず渡している。 14 学校は, 家庭への連絡や話し合いを積極的にきめ細かく行っている。	B A	16 家庭との連携や情報収集に努め, いじめや問題行動の未然防止に努めている。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
○生徒、保護者、教職員ともに概ね肯定的評価が多く、生徒指導の充実が図れていると考えられる。家庭・地域との連携及び情報収集に課題がある。	○配布物の確実な配布や回収のため、チェック機能付きの専用封筒の作成の検討。 ○家庭と連携してのインターネット上のルール作りの推進。	○ほとんどの生徒が学校生活(授業・部活動)を楽しく送っている。また、授業はわかりやすく先生が適切に評価してくれていると感じている。 ○「学校は楽しく、授業も楽しい」と答えている生徒が90%以上いることに指導の成果が見られる。

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(7)特別支援教育の充実	①個に応じた指導計画を作成し, きめ細かな指導を展開する。	25 先生は一人ひとりに応じた対応をしてくれる。	A								
	②特別支援教育に対する理解を深め, 協力体制の確立を図る。					17 特別支援教育への研修を行い, 校内委員会など職員間で協力体制ができています。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
○個別の指導計画、生徒の実態に応じて、指導した結果、少しずつ生活面の改善し学力の向上があった。 ○(7)-25 9割近い生徒が、教師の対応に満足している。	○支援の必要な生徒(通常学級に在籍する生徒も含む)に対する支援や手立ての工夫改善 ○特別支援教育の質の向上のための教職員研修等の実施	○どの生徒も落ち着いており、指導計画に沿った学習ができています。今後も常に責任を持って目の前の生徒に関わっていく。

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(8)国際化・グローバル化に対応できる生徒の育成	①英語指導助手による効果的な指導を推進する。	26 ALTとともに学ぶ英語の授業はとても楽しい。	A			18 ALTを活用した活動が効果的に行われるよう努めている。	A				
	②神山町KAIRとの連携を図り、国際親善への積極的な取り組みを図る。					19 国際理解をはじめ、多様なものの見方や考え方の育成をめざした活動を行っている。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○言語的な能力の育成だけでなく、異文化交流などを通して多面的に国際感覚を養うことができた。</p> <p>○オランダの中高生との交流では、生徒が中心となり交流会を企画・運営でき、貴重な体験ができたことは大きな成果である。</p>	<p>○英語での会話を苦手としている生徒もいるため、言語活動の充実が求められる。</p>	<p>○授業時数との調整が必要である。</p> <p>○英語や国語の時間に限らず、対話的な授業が各教科でできることが理想だと思う。将来的にどのような場面でも自分の意見が言え、議論ができる人材を育成する教育がなされると良いと考える。</p>

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(9)環境教育の推進	①「新 学校版環境ISO」の取組みを通して、環境学習の推進に努める。	27 学校で電気や水道を無駄づかいしないよう心がけている。	A								
	②神山の自然を生かし、人間と自然の調和のとれた環境教育の充実を図る。	28 神山の自然を守るためなら自分にもできることをしたい。	A			20 神山の自然環境を生かした教育活動が計画できている。	A				
	③生徒会活動を中心としたボランティア活動を通して、奉仕の精神を養う。	29 身近なボランティア活動があれば、参加してみたいと思う。	B								

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○教室移動の際には電気を消す習慣が生徒にしっかり身につけている。</p> <p>○ボランティア活動に興味はあるが、行動にはなかなかつながらない生徒がいる。</p>	<p>○地域のボランティア活動を紹介したり、ボランティア部からの呼びかけをしてみたり、積極的にボランティアの意義についても生徒に知らせていく。(清掃や片付け等を生徒にも手伝わせる)</p>	<p>○ボランティアの精神が乏しい生徒がいる。鮎喰川での活動やアドプト活動を通して、環境保全やボランティア活動の大切さについて理解を深める。</p>

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(10)へき地教育の推進	①へき地の特性を生かし、特色ある学習活動の推進を図る。			15 学校は神山町の環境を生かした教育活動を行っている。	A						
	②ふるさとに誇りをもち、自らの進路を拓くへき地教育の推進を図る。	30 ふるさとの神山町はよいところだと思う。	A			21 総合学習などを通して、ふるさとの神山に誇りを持てる教育活動が行えている。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○昨年より「神山町はいいところだと思う」割合が増えているので、神山町の環境を生かした教育活動の成果と考えられる。</p> <p>○神山つなぐ公社と連携した取り組みから、地域のことで知ることが増えている。今後もこの取り組みを生かした活動を進めていく。</p>	<p>○地域と連携した取り組みとして、企画・計画されたものが数多くあった。学校が全てを受け入れることは不可能であるため、生徒の現状を確認しながら、精選し教育活動に組み込む。</p>	<p>○神中祭や立志式など、本校には特色のある学校行事が多くある。今後も総合学習などを通してふるさとに誇りを持てるような生徒の育成に努めたい。</p>

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(11)学校行事を通じた思い出づくりの推進	①集団と個の関連を深め、協力してやり遂げることの体験を通して学び、よりよい生き方を求めて努力する意欲を育てる。	31 神中祭、合唱フェスティバルなどの学校行事が楽しみである。	A			22 神中祭や立志式など特色のある学校行事を効果的に生かしている。	A				
	②神中祭、立志式など本校の特色ある行事を効果的学習活動の場として活用する。	32 生徒会の活動や行事には積極的に参加している。	A			23 主体的に活動する中で、友だちと協力して物事をやり遂げる成就感を味わえる教育活動が行えている。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○生徒会や3年生が、神中祭をはじめ、様々な活動で中心となり積極的な活躍が見られたことが大きな成果である。生徒の自主性が尊重できる機会を学校行事の中にも多く取り入れている。</p>	<p>○生徒会や3年生が中心となり、活動できるとともに、1、2年生も同じような自主性が育つような工夫が必要。「やらされている」といった感をもたせない工夫が必要。</p>	<p>○自分や周りの人を大切に共に生きる姿勢がほとんどの生徒において高い。合同学習など学年の枠を外して取り組んでいることの成果と考えられる。</p>

令和元年度 神山中学校 学校評価 総括評価表

評価指標 アンケート肯定的評価・・・80%以上:A, 80～60%:B, 60～40%:C, 40%未満:D

重点目標	重点目標を達成するための内容	生徒用アンケート	評価	保護者用アンケート	評価	教職員アンケート	評価	生活調査	評価	その他	評価
(12)その他	①教育方針等の説明			16 学校は、教育方針(学校の取り組みなど)をわかりやすく伝えている。	A						
	②学校情報の公開			17 学級だよりや保健だより等のおたよりや学校ホームページをよく見ている。	B	24 各種の学校だよりやHP等で学校の活動についての情報公開を適切に行えている。	A				
	③保護者との連携			18 学校は、授業参観・三者面談など、保護者が学校に行く機会を適切に設定している。	A						
	④PTA活動の活性化			19 PTA活動に積極的に参加することができた。	B						
	⑤防災教育の充実	33 避難訓練などによって、地震や火災の時、どのように行動すればよいかわかっている。	A		20 学校は、台風などの自然災害時において、連絡網やメールを通じて適切な対応を行っている。	A					
	⑥安全教育の充実	34 登下校時や学校にいますとき、不審者に出くわすとどう対応すればよいかわかっている。	A								
	⑦学校教育目標の具現化					25 学校教育目標や重点目標の具現化を目指し、生徒の実態を考慮した学年目標を設定している。	A				
	⑧学級経営・学年経営					26 学校経営方針に沿い、効果的な学年経営、学級経営をしている。	A				
	⑨校務分掌					27 校務分掌は、職員の適性等を生かして配置され、分掌量は平均化され配分されている。	A				
	⑩協力体制					28 校務の遂行にあたっては教職員が協力し、実施については十分な事前の検討がなされている。	A				
	⑪研修					29 各種研修会等に積極的に参加し、資質と指導力を高めるとともに、常に自己評価を実施し、教育実践に生かしている。	A				
	⑫事務処理					30 文書の作成・検閲・提出・整理・保管等は、規定に基づいて適正に処理している。	A				

総合評価	次年度への改善策	学校関係者の意見
<p>○生徒との関わりに関しては、十分できているが、保護者や地域との関わりに関しては、職員の中でもできているものとそうでないものに分かれる。</p> <p>○職員が一丸となって大きな研究大会を成功させたことは本年度の成果と思われる。</p>	<p>○思考力や判断力を高める授業の工夫や改善が必要。そのために自己研鑽や専門的な知識を持つものからの指導、お互いの授業を見学し合うなど、授業力の向上に努める。</p>	<p>○学校行事など何をするにも、皆協力的で、やりやすい職員団だった。生徒に対しても、大切にし関わりがしっかりとできている。</p> <p>○道徳教育の教材研究に力を入れたい。</p>